みんなで１５０周年に向かって！

入間川小だより

学 校 教 育 目 標

・美点を認める明るい子　・ルールを守る正しい子　・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和５年　４月２８日（金）No.２
狭 山 市 立 入 間 川 小 学 校
〒350―1323 狭山市鵜ノ木５－９
TEL　04-2952-6221　FAX　04-2952-6222

児童数　４／２８　現在
４９１名

ある朝の出来事

校長　伊藤　秀一

新年度がスタートして、早ひと月が過ぎました。子供たちは新しい環境の中で、新しい友達や担任とともに、学習や生活に新鮮な気持ちで向き合っているようです。

そんな４月のある朝の出来事です。業前運動（朝マラソン）に取り組む児童の様子をいつものように見守っている私の目に、バスケットゴールにぶら下がる一人の児童の姿が飛び込んできました。バスケットゴールは、可動式のもので根元の部分に重りを置き固定されていますが、人がぶら下がることで転倒するという事例が過去にも報告されています。「危ないからすぐに降りなさい！」私は、強い口調で注意しました。すぐに「はーい」と素直な返事が返ってきました。「それでいいんだよ。さあみんなと一緒に走ろう」と私も声をかけました。児童はすぐに朝マラソンに参加しました。

やがてチャイムが鳴り、３００人を超える児童が一斉に教室に戻っていきます。その姿を見送っていると、背後から「校長先生・・・」との声が聞こえます。振り返ると「さっきはバスケットゴールにぶら下がってしまい、すみませんでした」と続けます。思わず「偉いね。改めて謝るなんてなかなかできないよ。素晴らしい」と声をかけ、嬉しさのあまり体育帽子の上から頭を撫でました。ぶら下がったことはもちろん改めるべきことではありますが、その後の児童の態度は、まさに本紙表題にも掲げている【目指す児童像・・・素直な子】の具現化された姿であると思います。

児童のもともとの素直な性格、ご家庭でのご指導ももちろんあると思いますが、それとともに、日頃の教職員による、「叱るにとどまらず、その後の改善する姿までしっかり見届け、褒める指導」の成果でもあると私は確信しております。児童・保護者様・教職員に改めて感謝したい、年度当初の出来事でした。これからもこのような光景がたくさん見られるよう、当たり前のことではありますが、「心ある指導」を教職員一丸となって推進してまいります。保護者・地域の皆様には引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

明日からゴールデンウィークが始まります。入学・進級と新しい環境で１か月過ごした疲れも少なからずあるかと存じます。心身ともに十分な休養を取りながら、充実した連休をお過ごしいただくようお願いいたします。